| 学校番号 | 3017 |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 歴史総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 明解　歴史総合　　（帝国書院　歴総　046-901） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歴史総合」は新しい科目で、テーマごとに日本や世界の歴史を横断して学習します。 空欄を支持された語句で埋めていくことは学習ではありません。教科書や資料を読んで調べ考 え、話し合ったりして関心をもち、導き出して主体的に学習する態度を身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
社会的事象の歴史的な考え方を身につけ、歴史的な問題を抽象化することで現代の社会問題を多角的に理解することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
社会的事象の歴史的な考え方を身につけ、歴史資料を読解したり、現代の社会問題に対してグローバルな視野を持ち、歴史との比較を通じて考察したりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
教科書や資料を読み、また話し合ったりして歴史的事項に関心をもち、現代の社会的諸課題と結び付けようとする姿勢を身に着ける。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。<br>近現代の諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に理解する。 | 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりしている。 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に理解し追究しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 歴史の扉 | 文書資料や図像資料などの歴史資料を読み解いたり、歴史的事象について多面的・多角的に考えたりする。 | a:資料を読解し、論理的思考から結論を導出することができる。<br>b:授業で気づいたこと、自分や他社の考えなどをノートにまとめている。<br>c:必要に応じてノートを書き、積極的に発表をするなど授業に参加している。 | 確認テスト | ノート・レポートの提出 | ノート・発表 |
| | 近代化と私たち | 「近代化」によって人々の生活や社会がどのように変化したかを考える。市民革命からはじまる国民国家の形成の動きとともに、産業革命から進む工業化の動きを学び、現代にどのような影響を与えているかを考える。 | a:市民革命や工業化が現代にどのような影響を与えているか理解している。<br>b:授業で気づいたこと、自分や他社の考えなどをノートにまとめている。<br>c:必要に応じてノートを書き、積極的に発表をするなど授業に参加している。 | 確認テスト | ノート・レポートの提出 | ノート・発表 |
| 2 | 国際秩序の変化 | 国際関係の緊密化、アメリカ合衆国やソヴィエト連邦の台頭、植民地化と植民地独立への過程が当時の人々の生活や社会にどのような影響を与えたかを考える。 | a:帝国主義や覇権国家が果たしてきた役割について理解している。<br>b:授業で気づいたこと、自分や他社の考えなどをノートにまとめている。<br>c:必要に応じてノートを書き、積極的に発表をするなど授業に参加している。 | 確認テスト | ノート・レポートの提出 | ノート・発表 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 大衆化と私たち | 大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化や生活様式の変化が当時の人々の生活や社会にどのような影響を与えたかを考える。 | a:近代化によって大衆社会や生活様式がどのように変化してきたかを理解している。<br>b:授業で気づいたこと、自分や他社の考えなどをノートにまとめている。<br>c:必要に応じてノートを書き、積極的に発表をするなど授業に参加している。 | 確認テスト | ノート・レポートの提出 | ノート・発表 |
| 3 | グローバル化 | 戦争の反省から平和を築くために国際秩序がどのようにして構築されてきたか、戦争の変化と平和構築への努力はが現代の人々の生活や社会にどのような影響を与えたかを考える。 | a:戦後の国際秩序の再編の過程がどのようにして現代社会と結びついているかを理解している。<br>b:授業で気づいたこと、自分や他社の考えなどをノートにまとめている。<br>c:必要に応じてノートを書き、積極的に発表をするなど授業に参加している。 | 確認テスト | ノート・レポートの提出 | ノート・発表 |
| | グローバル化 | テロ・人と資本の移動、資源・エネルギーと地球環境、感染症、高度情報通信・多様な人々の共存など、現代社会の諸課題について考える。 | a:ポスト冷戦の時代に現れた現代の諸課題と、今の我々が果たすべき社会的役割を結び付けて理解することができる。<br>b:授業で気づいたこと、自分や他社の考えなどをノートにまとめている。<br>c:必要に応じてノートを書き、積極的に発表をするなど授業に参加している。 | 確認テスト | ノート・レポートの提出 | ノート・発表 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度